
マリオ&レイージ1・2・3

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マリオ&ルイージ1・2・3

【ZINE】

N8071Y

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

マリオとルイージのゲーム1と2と3の話を書いていきます。
よろしくね

一番田の冒険 プロローグ

スマッシュショープラザーズで逃走中を現在書いているスマッシュです。

今回はマリオ&ルイージRPGで全ての話を書いていきたいと思います。
ではどうぞ、

マーリア王国からの使者が来ました。

マメばあ「キノコ王国とマーリア王国の交流のためにきました。
女王からのプレゼントでござります」

ピーチ（何かしら…）

パカッ、ブシュウー

マメばあ「ゲヒヤヒヤヒヤヒヤ…」

ドカドカドカ

ボンッ

「きやははは

ひゅースポ

す〜〜

バタッ

？？？「ゲヒヤヒヤヒヤ…」

空が雷雲があつた。

次の日

？？？「お〜い

？？？？「ん？何キノピオ？」

キノピオ「ルイージさん、臨時コースをみましたか？」

ルイージ「いや見ていないよ。それがどうしたの？」

キノピオ「では、マリオさんに聞いてみます」

デキコーン

家の中

ギルバード・アーヴィング

???:
???:
???:
???:

九四

キノピオ顔真つ赤

たたかう

？？？「あつ、#ノピオ!!」どんどんどん

キノピオ「マリオさん、ピッピーチ

ノニハシ

ルイージ「あれ〜〜〜」

城では

？？？——じつかりするのだ、ヒーチ姫！」

卷之三

ルイージ「うわ――――」

ビウーーードカツタタタタ

てある！

マリオ「クッパなぜいるんだ!?」

ケンバ、それはお前を倒してからだ！」

バトルシーン

「マリオ、ウリヤ、ジャンブだ！」

クッパ「うおっ。」うちの番だ！」

ガーベピヨン！

マリオ「あぶねー、もう一回攻撃だー。」

トガツトガツ!

クッパー ググッ グギュ

クツパ「・・・」ピヨン

ケツバーが!! こんな事をしている場合ではないぞ!!

ノルマニカの新刊書籍

ドカドカドカ

キノピオ「変わりに」こんな爆弾声に

ヒルヂー ydはおしとおあ ss sv d p] ヒカヒカトガ

クッパ「二んなピーチを捕らえたる我輩の威が壊れてしまひでな

いか。マリオ何とかしろ！」

マリオ「何とかしろっていわれてもね」

ギノビオ「マリオさん、姫の声を取り戻してください！」

フジ「かーーー、ド甘、セーフ押抜て顔を取つ様すーーーが

マリオ準備しおう!

マリオ「わかつたよマーリアへ行く準備すればいいんだろ?」

ピーチー t だ s ベルウオ n d くい o d h v g d j かい f h r y g h n

卷之三

ドカラーン

マリオ「準備だよーそれと、出発だー」（前書き）

今からこれを書きながらゲーム マリオ&ルイージRPGをやって
いきます
(言葉を間違えないため)

マリオ「準備だよ！それと、出発だ！」

今の爆発で危機一髪逃れたマリオ準備のためキノコタウンを回って
いた（中庭かもしれない）

キノピオ「あつマリオさん、もうすぐマーリア王國へ出発です
ねーどうぞ、置きお付けください」

マリオ「ああ、わかったよ」

キノピオ「マリオさん僕のキノコとつていただけませんか？」

マリオ「おう、取つてやる」ピヨン「取つたよ
キノピオ「ありがとうマリオさん、ついでにこれ持つていって
ださい」

マリオはスーパー キノコをもらつた。

マリオ「ありがとうキノピオ」

キノピオ「どういったのかな？」

マリオ「どうしたの？」

キノピオ「僕の大事なものがどこかにいってしまったんだ、探し
てくれるかな？」

マリオ「探してやるよ！」

1分後

マリオ「あつたぞ！」

キノピオ「ありがとう、これもつていてください

マリオは1UP キノコをもらつた

マリオ「ありがとう」

ノコノコ「どこのクツパ様が行つたのか分かるか？」

マリオ「あつち（だと思つ）」

ノコノコ「そつか、では失礼」

ルイージ「やあ兄さん、クッパがここに来たよ」

マリオ「ふうん」

ルイージ「クッパは向こうに歩いていったよ」

マリオ「じゃあ行こう!」

?????「マリオどの~」

マリオ「ん? キノじい?」

キキツツツピヨン

キノじい「マリオどの、長旅になるようなのでスーツケースを渡すぞ!」

マリオはスーツケースを手に入れた。

キノじい「それと、100コインじゃ」

マリオは100コインもらつた

キノじい「ところでルイージどのも行かれるのですかな?」

ルイージ「いや行かないよ。お迎えだよ」

キノじい「お迎えですと?なら、わしと同じじやの。では、マリオどの、わしは先に行つておくぞよ」

?????「マリオ~」

マリオ「あつ!」

クッパ「遅い!なにをしていたのだ!」

マリオ「その辺のキノピオの手助けだよ!」

クッパ「後は我輩のクッパ軍団集合だ」

ルイージ「じゃあね~」

キノじい「・・・

マリオ・キノピオ・クッパ「・・・」

クッパ「んが~!どこへ行つた!?'、お前もクッパ軍団へ入りたいのか?」

ピョンピヨン

クッパ「そうかそうか、そんなに入りたいのか！」

ルイージ「えつ！」

キヨロキヨロキヨロ

ルイージ「僕？」

クッパ「そうだお前だ！」

ルイージ「いやいや僕は入りたくないよ」

クツバ一かはほほ、足を引つ張りそうちが特別に連れて行つてやる

!

二十九

クッパー逃げるな〜〜〜

ドカッ！

ノコノコ すみませんだいまたうじゅうします。お~い、こひち

だぞ！

たるたるたるたる

卷之三

不至急病作之恐有大

= 1

たたたたたたガシツ

カメジエット内部

放送「おいマリオと緑のひげ！」

マリオ - なんだ!?

ルイ・シ - 緑のひげにて 僕のことか・・・

シナリオ「アーティスト」

ルイージ「縁のひげつて、縁のひげつて、しくしく」

マリオ「ほら行こう！」

ルイージ「うつうん・・・」

8

ノコノコ「ちよつと待てそこのお前たちだ！」

マリオ「何？ノコノコ？」

ノコノコ「お前らパスポート持つているか？」

マリオ「えーとパスポート、パスポートあつた」

ノコノコ「そうだそれがパスポートだ・・・あれ？写真がない。写真がないとママーリア王国へ入れないぞ！」

マリオ・ルイージ「え～～～」

ノコノコ「しかし大丈夫だ。ここでお前たちの写真を撮ればいいことだ」

ルイージ「いい考えだね」

マリオ「じゃあさつそく撮るわ」

ノコノコ「よし、ではそここのマッシュに乗つてくれ！」

マリオ「乗つたよ！」

ノコノコ「じゃあ縁のひげはその辺にいといてくれ！」

ルイージ「また、縁のひげだつて・・・しくしく」

ノコノコ「撮るぞー！。！おい、じつとしてくれ勝手にポーズをとるんじゃない！いくぞーはい、ポーズ！」カシャッ

マリオ「次はルイージだぞ！」

ルイージ「うん」

ノコノコ「じゃあ撮るぞー！はい、ポーズ！」カシャッ

ノコノコ「よしこれで二人ともパスポートに張つたな。じゃあクッパ様に会いにいきな」

マリオ「ありがとよ」

ノコノコ「うーん、あれがこうで、これがこうで、間違いたら最初からやり直しだ。！、あつマリオ俺だよ俺」

マリオ「誰？」

ノコノコ「あの時道を聞いたノコノコだよ。あの時はありがとよ。お礼にこれをやる！」

マリオは「EEPキノコをもらつた
マリオ「ありがとよノコノコー」

ノコノコ「までー！」ててて
ノコノコ「までー！」そりぞりぞりぞりゾーン
ノコノコ「・・・。これじゃあ一個も終わらなーいよ。クッパ様の手
伝いもあるのこ・・・。ーあつマリオ！」「

「ノコノコ「バトルでこいつを捕まえてくれー。まずは踏んでみや」
ピヨン！ ドカツ！

ノーノー、そ、うたハトル前に踏めば追加攻撃ができるぞ!!しかし後ろのひげが当たると一時行動ふかになるからなー!」
マリオ「よし!勝つぞ!」

ノコノコ「ありがとー。」ポイッポチヒゴー・カツ・
ノコノコ「ありがとー。」終わったよ。バ・シ・ト・マ・ス・ベ・セ・「だぞー。」

ノコノコ「誰だ！こんな所に箱を置いたのはコレじゃあピッタリ
けないぞ！」

マリオ「あんなところにブロックがある」ピヨンドカツ
ガ~~~~~

「ヨーロッパの箱だよ！」
ピタッ！

ガリレオの手稿

マリオ「ルイ——ジ——・・・大丈夫か?」

ノコノコ「あ、あ間違えて持つていかれたな、仕方がない監視役に
でもしよう」

ノコノコ「クッパ様、もつすぐドキノコ王国とマーリーラ王国の国境を超えます」

クッパ「うむ、」苦勞

ルイージ「うわわわわなんだ～～～」

クッパ「どうした何か見えるのか？」

ドカンッ！

ルイージ「あわわわわ」ボムツ

クッパ「どうしたことだ。ムツ～！」

ドンドドッ

？？？「ゲヒヤヒヤヒヤ、」のグラゴモーナを追いつひりとはー000000年速いわ！」

クッパ「お前がピーチの声を奪つたんだな！？」

グラゴモーナ「ゲヒヤヒヤヒヤ、そのとおり！」

マリオ・ルイージ「！！！」

グラゴモーナ「今からマメリーラ王国を支配しよう」と思つているんだ。グラゴビツツーやっておしまー！」ビヨーーーン

クッパ「ンガーーー待てーーー」

グラゴビツツ「あはははお前達ではグラゴモーナ様には追いつかないでる、お前達はここでくたばるのだるる」ボンドカツ！

クッパ「グハツ！」

マリオ「クッパ！大丈夫か！」

ルイージ「あれ？兄さん！グラゴビツツがいないよー！」

マリオ「まさか！本当にいない

ゲラゴビツツ「あははは」

マリオ・ルイージ「うわ～～

グラゴビツツ「まずはお前達から倒してやるわ

バトルモード

マリオ「おつやつジヤンプだ！」ドカツ！

ルイージ「僕も！」ドカツ！

「ボンツ ゲラ」「ビツツ 「痛いいるるね、じゃあ」つちからも攻撃るるー。」ボンツ

ドカツ ドカツ ボンツ

ケラ「ビツツー・アカツ」ホガン！

シジテ「此が御子」トニア

ゲラ「エリック、アカシ一ぬの！」と叫むやうかど、このしゃへ

い」
すゞゞゞスホツ

「ジヤバヤハヤバヤ」「ゲルバヤバヤ」「ゲルバヤバヤバヤ」「ゲルバヤバヤバヤバヤ」

ゲラゴビツツ「あははは、あまり効かないわね。」つするしかな
ーーー^{バーバーバーバー}

ゲラ「ビツツ「あははは

マリオ「待て〜〜」

マリオ・ルイージーわあ～～～～

ドッカーン

次回、チャレンジコツキージャンプ！

マリオ「準備だよー! それと、出発だー!」（後書き）

今遊び中
テスト期間なのに・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8071y/>

マリオ＆ルイージ1・2・3

2011年11月24日15時52分発行